

“センノキラメキ”

千の煌めき

11月3日(日)



大札山山頂から眺めた幻想的な山並み

11月28日(木)



ブロック交流会では竹のコップづくりに挑戦

11月3日(日)



山登りの途中で集めた葉っぱ

▼11月3日(日)
エコツーの「大札山紅葉満喫トレッキング」に参加。同じ登山コースでも、夏に登った時との印象の違いに驚きました。何度も訪れてみて気付く季節の変化も、山登りの魅力の一つなのだと思います。

▼11月6日(水)
水川地区の猟師さんに、箱ワナの設置する場所と「山の講」という山の神を祭る行事について教えてもらいました。山で働く人たちにとって、山の講は昔から当たり前のように存在する年中行事であると聞きました。こうした風習を形骸化させずに継承していくことの難しさにも気付きました。

▼11月13日(水)
文沢地区にて冬用のまき拾いのお手伝いをしました。今までは、冬の到来をテレビやお店の中のディスプレイなど「受け身」の立場で実感することが多かったため、冬支度によって冬を迎え入れることをとても新鮮

▼11月3日(日)
に感じました。

▼11月28日(木)～29日(金)
群馬県で開催された協力隊ブロック交流会に参加。関東・東海地方で活動している仲間たちと、それぞれの現状や派遣先の様子について情報交換をしました。自分と同様、みんなも不安や迷い、焦りを感じることもあると知り、だからこそもっと頑張らなければという気持ちが湧きました。

▼11月を過ごして
協力隊として半年以上を過ごし、この町での自分の姿について考えることが多くなりました。協力隊である自分に求められていることは「よそ者の視点」と「地域活動の応援」だと考えています。もったこの町を見て、聞いて、知って、自分の感じた「川根本町」を町内外の多くの人に発信し、また町のためにどのような応援ができるか、そこからさらに自分を取り組めることがないかを探していきたいと思っています。

